

「尾張の茶」から名古屋の魅力を考える」セミナー (建築総合展会場セミナー)

(公社)愛知建築士会名古屋中支部

～幕末、変動する尾張の茶道～

今回のセミナーでは、一昨年古希を迎え「尾張の茶」(淡交社)を執筆された茶道裏千家・神谷柏露軒四代目当主、神谷昇司氏をお迎えして「茶どころ」名古屋を、歴史・茶人・道具から語っていただき、名古屋の魅力や将来の名古屋文化のあり方を考える一助になればと思います。

幕末、風雲急を告げる時代、尾張の茶道は大きく変貌する。その中心となったのは、尾張徳川家12代を継いだ徳川斉荘(なりたか)です。どのように変貌していったのか。それはなぜかなどを中心にお話しいただく予定です。

日時 令和3年2月26日(金)午後1時～午後3時00分(受付 午後12時30分～)
場所 ウィンクあいち 11階 1101会議室(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)※建築総合展会場内
講師 裏千家正教授・人間環境大学名誉教授 神谷昇司先生
定員 50名(1101会議室の定員108名のおおよそ半分)
参加費 愛知建築士会会員(準会員・特別会員・賛助会員を含む):500円
一般 :1,000円

申込方法 以下のセミナー参加申込書に必要事項をご記入の上、電子メールまたはファックスにてお申込ください。(申込用紙は愛知建築士会名古屋中支部HPからダウンロードできます)

申込締切 **令和3年2月24日(木)まで**
(ただし、定員50名になり次第締切。満席の場合にはお断りの連絡をします)

申込み先 名古屋中支部研修委員会 河内芳博
E-mail yoshihiro.kawauchi@panekyo.or.jp FAX 052-241-2753

CPD 2単位(申請中)※事前申告:申込書で事前に申請してください。

※コロナ禍での開催となりますので、参加者の皆様にはマスクの着用をお願いします。

また、当日は受付で検温と電話番号の確認をさせていただきます。

建築総合展が中止の場合は、本セミナーも中止となりますのでご承知おきください。

講師プロフィール

茶道家(茶名・宗舎 そうちょう)。昭和24年(1949年)名古屋市生まれ。名古屋大学大学院博士課程単位取得後退学。生家が代々の茶家で、裏千家茶道を学ぶ一方、茶道史、茶室建築の研究にいそむ。裏千家正教授。人間環境大学名誉教授。茶の湯文化学会理事。

建築総合展会場セミナー

「『尾張の茶』から名古屋の魅力を考える」セミナー 申込書

愛知建築士会名古屋中支部

フリガナ		連絡先	E-mail	
氏名			TEL	
			FAX	
いずれかに ○印をつけてください		() 会員 (会員番号)	支部名	
		() 一般	CPD番号	